バージョンアップ情報〔給与上手くんa〕



- ●給与上手<んa VERSION:13.401
- ●給与上手くんaクラウド・給与上手くんaクラウド SE VERSION:13.401

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインスト ールは不可となっています。

- ♦ 確定保険料算定基礎賃金集計表の様式変更
 - 「令和4年度 確定保険料・一般拠出金算定基礎賃金集計表/令和4年度 確定保険料算定内訳」に 様式が変更されました。
 - ・様式名が変更されました。
 - ・賃金を前期、後期に分けて集計するよう変更されました。
 - ・賞与が前期に2枠、後期に2枠の合計4枠となりました。
 - ・帳票下部に確定保険料の算定内訳欄が追加、概算保険料の算定内訳欄は削除されました。
- ◆ 算定基礎届・月額変更届
 - ▶ 健康保険の標準報酬月額が上限(下限)に達している場合の月変について改良しました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの**"給与処理db【給与計算】(VERSION: 13.401)の変更点"**を参照してください。

ご注意

●他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プロ グラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。



給与処理db【給与計算】(VERSION:13.401)の変更点

改正内容

I. 概 要

1) 確定保険料基礎賃金集計表の様式変更

- ①「令和4年度 確定保険料・一般拠出金算定基礎賃金集計表/令和4年度 確定保険料算定内訳」に様式 が変更となりました。
 - a. 様式名が変更されました。
 - b. 賃金を前期、後期に分けて集計するよう変更されました。
 - c. 賞与が前期に2枠、後期に2枠の合計4枠となりました。
 - d. 帳票下部に確定保険料の算定内訳欄が追加され、概算保険料の算定内訳欄は削除されました。 ※その他軽微な変更は割愛いたします。
- a 令和4年度 確定保険料·一般拠出金算定基礎質金集計表/令和4年度 確定保険料算定内訳 ※理算・奠進保険料・一般現出金単合書 (事業主控)と一揆に保管してくたさい。 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 ゲーク
 出向者の有景 事業の名称 王约委号 拔香子 具体的な業務又は作業の内容 麦 事業の所在堤 募焼香み 出 医金 5天保険および一层発出金(対象考査及び賃金) (2)役員で労働者扱いの人 (2)保障労働者 周用 程 段 (対 象 ぎ る 及 び 貫 金) (i) **常用労働者** (4)合 黔((()+(2)+(3)) (L)(2)(2)外の傘ての診療者(パート アルバイト で軍用係数の旅客のない人)を犯入してくだき ★洋労養労のほか、パート アルバイドで準用 保険の放装のある人を含めます。 (6)
 第川参議会、パート アルバイに運用係数の 後者のある人(目前参議地決長者に支払った 当初部分を込むます) (f)合計 ((5)+(6)) 実営的な役員収成分を発生ます。 tr d \$4. d * * # 9790497-35. 101 #1 #1 b ιιя С -----**4**2. (1)104+-0. 夜期計 € # *時間用労働 者気 (労災保険対象 者気) 氏名 **没币** 雇用保険の査接 (別の合計人家) 単音書記書へ総記 (11)の合計人会 単音書愛有へ教起 除し、小数市 2023年 日本 【新考) 役 員で労働者級 雇用保険被保 ÷12= 新会は1人としてくだお)。 認知率で保険関係が成立した事業については、保険関係成立以降の (で約)。でくだれ)。 d **雇用保険分 規制時** 谷和 4 年 4 月 1 8 から 余本 5 年 の 原 素 材 数 定 単 使 成 素 茶 4 年 4 月 1 8 から 余本 5 年 の 原 素 材 数 定 単 使 成 素 茶 4 年 4 月 1 8 から 余本 5 年 の の 泉 素 材 数 定 単 使 成 素 5 年 (5010-0) 1 5 形成構成短い換す (5010-0) 20(5)(7,010-0) 1 5 形成 SL B まで | 130歳定県教報仮(その2 **前用分** (令称4年4月1日~ 令称4年9月30日) **的票分** [令预4年4月[日~ 今预4年9月30日] 保険料算 東谷寺の龍(小) へ振史 (mília-2)、予門永清除影響・騎て 中省清約6日(へ) へ転記 10(12-2)、予用決備感受望(数: 宇宙電動(1) へ振足 41(0次的)、一内決清晴 申告者の(二) へ伝史 (の(の)×(へ)、一日永清学校は知られてない ₽F **登開分** (今秋4年10月18-今秋5年5月518) **登開分** [令狗4年[0月[日~ 令狗5年3月3[日] 宇宙寺の(1) へ振史 二)+(6) 一四本遺論者においたてな 中省寺町(1) へいま 合 計 内天 會 ₩ 制造成時間(人)を(1)と(の時間の)へ時 sector and the sector of the s ①第 兼用期間(前期・資料)にお当する研設再算施工研設を集計表から終わしてくたさ 手円未満の構築が単いる場合は、その構築を切り捨ててくたさい。 (2)二元適用事業が労災保険分を申告する場合は、算定基礎額は次表により算定し、申告書に転記してください。

 日本地域の確認が担い2歳会は、その確認を知識すてください。

 金賀 (分別天鉄会)冷海の4年度が天鉄会はまたは少い時料料を小いだれしてください。
 人
 【周月保険会)油の周期間 (時期・電用)に参加する運用環境単なり、0)に起えしてください。
 人
 街面の間(ご都の水を見かい)またます。
 アキューの場面の超いに増加するます。
 アキューの場面の超いに増加するます。

 労兵保険分の算定基礎額 (二元査明事業のお記入) (10)の合計版の千円来 を切り捨てた版 千円 (3) - 元道用事業及び二元道用事業が一般要出金を申告する場合は、第定基礎額は次表により限定し、申告書に転記 してたたい<u>.</u>_____ ②朝 ①朝の数に②朝の半を発じた数を起入し、一円忠道の編纂が生じた場合であってもその編纂は知り論てないでください。 一般発出金の算定基礎額 (男長系統領帯が於立している 全ての事態が起入) しのの合計額の千円未満 を切り捨てた数 ₽₿ 思ジスの利用した
 - 参考 URL:9 確定保険料・一般拠出金算定基礎賃金集計表の書き方(1)(mhlw.go.jp)



改正対応

■既存マスターの場合、入力業務等を開くとマスターバージョンアップがかかります。



I. 給与・賞与/労働保険

1) 確定保険料算定基礎賃金集計表

- ①入力画面
 - ●集計表修正タブを改正に準じた形に変更しました。

		反公				労災保険対象	者数周	及び賃金	雇用保険対象被保険者数及び賃金							
		E 77		D常用労働者	Ø	役員兼労働者	0	③臨時労働者	(4)合	計 (①+②+③)		⑤被保険者	⑥役員で被保険者	0 6	<u>計(⑤+⑥)</u>	
		月別	人	H.	人	Ħ	一人	円							円	
		04年04月	3	900,000	2	1,710,000			\rightarrow	※亦いハ-	-と	ニメッセージ	シについ くは	Ţ,	000	
		04年05月	3	900,000	2	1,710,000				後半の	ГÆ	=≡⊥≠r∩₽∥ı	た矣のノも	<u>~ +</u>	000	
		04年06月	3	900,000	2	1,710,000				仮巡り	丨釆	ミコ衣印刷」	を参照くな	29	UN 000	
	20	04年07月	6	1,800,000	2	1,710,000			8	3,510,00	Γ	6 1,800,000	2 1,710,000	4	3,510,000	
	110	04年08月	6	1,800,000	2	1,710,000			8	3,510,00) (6 1,800,000	2 1,710,000	8	\$,510,000	
		04年09月	6	1,800,000	2	1,710,000			8	3,510,00	0 6	6 1,800,000	2 1,710,000	8	3,510,000	台亦
	与	04年10月	6	1,800,000	2	1,710,000			8	3,510,00) (6 1,800,000	2 1,710,000	8	3,510,000	1221
		04年11月	6	1,800,000	2	1,710,000	/		8	3,510,00) (6 1,800,000	2 1,710,000	8	3,510,000	よ部 と分
		04年12月	6	1,800,000	2	1,710,000			8	3,510,00) (6 1,800,000	2 1,710,000	8	3,510,000	bố
		05年01月	6	1,800,000		910,000			7	2,710,00	0 0	6 1,800,000	1 910,000	7	2,710,000	- [5릴
		05年02月	6	1,800,000	- 1	910,000			7	2,710,00) (6 1,800,000	1 910,000	7	2,710,000	出現
		05年03月	6	1,800,000	1	910,000			7	2,710,00	1 6	6 1,800,000	1 910,000	7	2,710,000	「「き売」
		04年04月		3,000,000		1,000,000				4,000,001)	3,000,000	2,000,000		5,000,000	和色
		04年07月		3,000,000		2,000,000				5,000,00		3,000,000	2,000,000		5,000,000	まの す最
	旦	04年07月		1,500,000						1,500,00)	1,500,000	_		1,500,000	~ 終
	与	04年09月		6,000,000		2,000,000				8,000,00		6,000,000	2,000,000		8,000,000	- <u> </u> 月
		04年12月		6,000,000		2,000,000				8,000,000		6,000,000	2,000,000		8,000,000	l it
		05/200 B		e 000 000		1,000,000				7,000,000		0.000,000	1,000,000	_	7 000 000	
a.	前期計((4月~9月)	<u>,</u>	21,600,000		15,260,000		0		36,860,00		21,600,000	16,260,000		37,860,000	
	<u> 炙期計</u>	(ШЯ∼ЗЯ	/	22,800,000		10,860,000		0		33,660,00)	22,800,000	10,860,000		33,660,000	
	ĉ	े हो		44,400,000		26,120,000		0	84	70,520,00)			84	71,520,000	I
	労災保	険分 保険	料算定	基礎額 保険料率	₩ ð	確定保険料額(1)	確	定保険料額(2)	雇	用保険分 保険	科算定	E基礎額 保険料率	確定保険料額(1)	確:	定保険料額(2)	
Ы	前期	<u>8</u> †	36,	860 千円		0.00 F	9			前期計	37,	860千円 9.50	359,670.00 円			
	後期	<u>8</u> †	33,	660 千円		0.00 F	9			後期計	33,	,660千円 13.50	454,410.00 🖽			
	合	â†	70,	520 千円 (/1000)	0.00 F	9	0 円		合計	71,	,520千円 (/1000)	814,080.00 💾	1	814,080 💾	
					-											
	備	# #	働业登	□一元週用 労災保険	争業 料率	の場合は、 の登録を行ってく	ださ	N		-元週用事素 千 労災保険分 千	円 -	一般拠出金分 千円				
С.	018	· 7	副自由	\$7 D D D D D D D D D D D D D D D D D D D						70	520	70 500				
										70,	920	70,520				

- a. 前期計(4~9月)、後期計(10~3月)の2行を合計行の上に新設しました。 前期計:前期の給与と、4月~9月に支払われた賞与の合計 後期計:後期の給与と、10日~翌年2日に支払われた賞与の合計
 - 後期計:後期の給与と、10月~翌年3月に支払われた賞与の合計
- b. 確定保険料の算定用の欄を新設し、概算保険料(雇用保険分)の欄を廃止しました。 「労災保険分」「雇用保険分」「二元適用事業 労災保険分」「一般拠出金分」欄がありますの で、算定する事業所に合わせて、必要な欄を参照し、申告書へ記載してください。
 - ・一元適用事業の場合

保険料率を入力し、「労災保険分」「雇用保険分」の確定保険料額と「一般拠出金分」を、 申告書作成の参考にしてください。

※入力する保険料率については、お手元の申告書 32 欄「期間別確定保険料算定内訳」に印字されている労災保険率、または下記 URL より該当の保険料率をお探しください。 令和5年度の労災保険率について(平成 30 年度以降変更ありません) (mhlw.go.jp)



・二元適用事業の場合

作成方法は例年通りです。「二元適用事業 労災保険分」と「一般拠出金分」を、申告書作成の 参考にしてください。(保険料率の入力は不要です。)

c. 備考のフリー記載欄を削除、労働者登録ボタンのみに変更しました。 ※労働者登録数は従前と同様に5名分まで登録可能、出力も5行で変更ありません。

②集計表印刷

●出力オプションの下部に以下のメッセージを追加しました。(令和4年度のみ)

労災保険分の確定保険料算定内訳の金額を出力する場合は、集計表画面で予め令和4年度労災保険率の登録 を行ってください。 部署毎の集計表出力では各部署集計表画面(F4で切 替)にて登録が必要です。

●出力様式を改正内容に準じて変更しました。

令和4年度 確定保険料。一般提出金算定基礎賃金集計表/令和4年度 確定保険料算 (第2期 今和4年月~冬期5月)	定内訳 0月1日~今回545月3日 ※細葉・瓶に限時・ 和風山会中告告(事業主約)と一杯(保管してください、
お前の時 市営 特勝 基始掛け お香む 出向者の有無 事業4	の名称 単語 011-111-1111 具体的な業務又は作業の内容
	講貨企業計表 の市在地 数値発見 0.0.1 - 0.0.1.1 気業、玩具製造等
番号01101000001 出 名 RE#1	
区分 労災保険および一般拠出金(対象者数及び賃金)	雇 用 保 険 (対 象 者 数 及 び 賃 金)
(1) 常用労働	
』 「認識ないな」 当様式は、厚生労働省の様式と考	<u>言干異なる部分がありますが、提出</u> これまた
一番番茄 用帳票ではありませんので、申告	<u>ら書作成用の参考資料としてご利用</u>
(ださい。)	2, 510, 000 3, 510, 000 3, 510, 000
97 6 #54 4 4 7 H	3,510,000 9,000,000 5 1 6,000,000 5 1 10,000 000 5 1 10,000
1,500,000	1,500,000 1,500,000 1,500,000
費4 4 年 9月 6,000,000 2,000,000 100-100-100-100-100-100-100-100-100-	-1 8,000,000 6,000,000 2,000,000 8,000,000
前續計 21,600,000 15,260,000 0	36, 860, 000 21, 600, 000 16, 260, 000 37, 860, 000
114 6 1.800,000 2 1.710,000 8	3, 510, 000 6 1, 800, 000 2 1, 710, 000 8 3, 510, 000
12H 6 1,800,000 2 1,710,000 8	3, 510, 000 6 1, 800, 000 2 1, 710, 000 8 3, 510, 000
金和5年1月 6 1,800,000 1 910,000 7	2,710,000 6 1,800,000 1 910,000 7 2,710,000
3H 6 1.800.000 1 910.000 7	2,710,000 6 1,800,000 1 910,000 7 2,710,000
1 4 4 4 1 2 A 6,000,000 2,000,000	8,000,000 6,000,000 2,000,000 8,000,000
	7,000,000 6,000,000 7,000,000 7,000,000
帝和·年度 20 000 000 10 000 000 000 000 000 000 0	-2) 22 660 000 22 500 000 10 560 000
使用計 22,800,000 10,800,000 0	33,000,000 22,800,000 10,800,000 33,000,000
Image: Fill 44,400,000 26,120,000 0 84	70, 520, 000 84 71, 520, 000
(備考) <u>氏名 役職 雇用保険の資格</u> 常時使用労 (9)の合計人数 連告書企業	・各月資金維張口等の労業有数の估計(活時使用労業務の場合は(5)、 へ転記 雇用保護被保護者数の場合は(11)より転記)を注入し、12で除し、小数点 (11)の合計人数 (車告書⑤種へ転記)
役員で労働 <u>有・無</u> 働者数 ÷12 =	
	人 ・ 年度途中で保険関係が成立した事業については、保険関係成立以降の 84 7 人
	The conditional state of the st
《 令和4年度 確定保険料算定内訳 》 労働者数をお入してください、(金和/4年度)	こおける資源最後の中海においては、海州使用が固有数は空水小平度中のエロや時度用 用した低労働者数/令和4年達における所近労働日数)
	★ 告書に転記してください。
確 労災保険分 ^{算道期間} 合和4年4月1日から合和5年3月31日まで ① 保倉料算が花産期 ② 保倉料率 ③ 建定花産期 (3 保倉料率) ③ 建定保障料剤(子の5)	- 雇用保険分 ^算 症期間 合和4年4月1日から合和6年3月31日まで 2) 雇用保険分 (① 保険料算 定 装 確 知 ② 保険料率) ③確定保険系統 (その1) ③ 確定保険系統 (その2)
定 前期分 (パローロ、千円未時間回の) 巻て (パーロ・ロ・一一日本時間回知の) 巻てない	前期分 (212-1)、行用相關國防約7 (7) 1000分の (2010)×13)、一行相關國防約5番でない
(茶)(合和4年4月1日~ 時)合和4年9月30日)単告書②欄行()~転記 千円 単告書③3欄(二)~転記 円	(合和4年4月1日~ 37,800 9.5 単智書登欄(20~442) 円 令和4年9月30日) 甲哲書登欄(20~442) 千円 9.5
後期分 (19)(10-2)、デデオ####8019巻て 料 後期分 (19)(10-2)、デデオ####8019巻て	後期分 (1)(12-2)、千円用時間間の時着て (7) 1000分の (03(1)×(7)、一円相間時に20万番でない
	(令和4年10月1日~ 33,660 13.5 #75,4421 円 33,660 13.5 #75,453,460,400
定 ((1+(1)) (1+(1)の機能通 世話	新 (0)+(h) (2)+(e) -円和新聞記録の書でない (2) (2)+(e)の時間を選 注意単語
	n 合計 71,520 平m 814,080 m 814,080 m
PX 単智書整構の汁(のと影響(口)へ転記 単智書整備(口):100、4631 単智書準備(口)、4631	単等要換解除14Kを取得な~mail 単音要換解(な1403)~mail 単音要換解(な1403)~mail
○「「「「「「「」」」」」の「「「」」」」の「「「」」」」の「「「」」」の「「」」の「「」」の「「」」の「」」の「「」」」の「「」」」の「「」」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「」」。」の「」」の「」	(2)二元済田支書が光俗を除ひた由生まる場合は、営会な時期は少まにもは営会し、由生書にお知してください。
記 ② 欄 (労児免疫分)合和44項労児免疫時年(またはメリット科中)を(べ)に記入してください。 国が開発分)通用期間(前間・範囲)に統当する周川規模率を(分,(以)に認入してください。	労災保険分の算定基礎額 (00の合計都の千円 70,520 (二定調用事業のみ記入) 大時を切り着くた額 「170,520
⑦ ②欄 ①欄の額に②欄の率を乗じた報を記入し、一円未満の諸数が生じた場合であってもその結婚は知り捨てないでください。	(2)
	(*)「元庫市等来及び二ル庫市等来か」最後山並を中古りる場合は、昇足感旋転は次支により昇足し、甲省書に転 (約) てくだれ、
この例 にのの本地のパロションの構成のシェンションを行った。他の本語では、他の本語での小さい。他のを見り着てた観察のプロントに入してください。 ※①欄の(小とく)の類(ロ)と(ら)の類がそれぞれ同類であり、かつ、③欄の(ニ)+(の)の各々の小数点以下を足した結果。	
一円以上となる場合にのみ、その場数を切り上げた線を伊定記入してください。 1回回線線を1回場でかれたはこの場合を使用したできなかがあります。その場合を使用したできなかかでおり、マイングレン	(10)の合計板の千円 70,520 (10)の合計板の千円 70,520
DIRUMARAL WIRE CATAVIC TRANSMISSION COMPLEX CAMINES OF A COMPLEX CALCULAR	全ての事業が記入」

・様式下部の確定保険料算定内訳欄について、保険料率を入力した場合は赤枠内を、入力していない 場合は青枠内を出力します。



- ●賞与の回数が多く、出力時に行が不足する場合、枠内に収まるよう合算し出力するようにしました。 ※入力は前期後期に関係なく6行ですが、出力は各期間をみて前期、後期3行ずつとなりますので、 3行に収まらない場合は古いほうから各期間の1行目に合算して出力します。
 - ・例えば前期4回、後期2回のとき、前期の賞与枠のうち下2行は新しい2回分の金額を、一番上の行には書ききれない古い2回分を合算した金額を出力します。

_													盒売	
		04年04	月	_	3,000,000		1,000,000				4,000,	000	昇色の	
		04年07	月		3,000,000		2,000,000				5,000,	000	ま部と分	
	冝	04年07	月		1,500,000						1,500,	000	めの	
	与	04年09	月		6,000,000		2,000,000				8,000,	000	[<u>)</u> - 阜	
		04年12	月		6,000,000		2,000,000				8,000,	000	出は	
		05年03	月		6,000,000		1,000,000				7,000,	000	さ赤	
集計表印刷			*	合算 付き	して出力され、画面右側に	る賞	与がある場 を表示しま	合は入力 す。	つ画面に	赤い	バーガ		a す。 。 般 買 与 に	
Uh.1	賞与 4	年 7月	/	~	6,000,000		3, 0	00,000			0	\sim	9,0	00,000
	貸与 4 貸与 4 一 二 二二二	年 7月 年 9月 4年 庫			1,500,000 6,000,000		2, 0	00,000				(10-1	1,5 8,0	00,000

・合算される賞与が存在する場合には、業務起動時にメッセージを出すようにしました。 年間6回以内で、前期または後期に4回以上ある場合は、下記メッセージを表示します。

算定基礎貨金集計表 登録 修正)
▲ 前期分に、賞与が4回以上あり出力できない賞与があるため合算されて出力されます ○────────────────────────────────────	o

※入力画面の賞与は最大6行で、年間7回以上の場合は入りきらず集計できないため、これまで同様に手修正となります。ご了承ください。

③チェックリスト

- ●個人データチェックリスト
 - ・合計の上に「前期計」と「後期計」を出力するようにしました。

賞与	04年09月 04年12月 05年03月	1,000,000	常用常用	1.000.000 1.000.000 1.000.000		被保被保被保	1,000,000	
	前期計 後期計 合計	4,800,000 3,800,000 8,800,000		4,800,000 3,800,000 8,600,000	0	0	4,800,000 3,800,000 8,800,000	

- ●月別データチェックリスト
 - ・プルダウンメニューに「【前期】4年度分」と「【後期】4年度分」を追加しました。

•	月別	データチ 【前期】 【後期】	エックリスト 4年度分 4年度分 4年度分									
		[00000010] #	<u>二 1 谷 穴</u> (定基礎資金類)表		確定保険	科算定基礎賃 #% ## #	金集計表月別	データチェッ	ックリス	雇用保険対象被保険者負	【前期】	4年度分 Page. 1/1
		個人コード	氏名	賃金	劳災区分	常用	役員兼	K 20中	雇用区分	被保険	役員被保険	
	_											
			的规则			21, 600, 000	12 人 15, 260, 000	ه ۷		27 人 21, 600, 000	12 人 16, 260, 000	

- ●チェックリスト (データー覧表)
 - ・個人のデータの年合計の上部に「前期計」「後期計」を追加しました。





・集計頁の下部に「前期計(賞与含む)」「後期計(賞与含む)」「年合計」を追加しました。 ※従前は7名までは集計も1枚に収めて表示していましたが、個人のデータと集計データで改頁す ストラ変更しています

確定保険 (000001) 算生業得要主義并者 (000001) 算生業得要主義并者 (000001) 第七、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、	4事だ基礎賃金集計扱データー覧表 第第 : 今和 4年4月~今和 1年3月 <u>11月 : 12月 : 1月 : 2月 : 3月 東子: 東子: 東子:</u> <u>5. 10-10</u> -10-11, 1000,000, 14000000, 100000000	Page. 2 / 2 第 54 第55 第56 平台計 60 90. 500000, 500000, 500000, 54400000	
121406/A 121406/H金 1214060 12140000 12140000 12140000 12140000 12140000 12140000 12140000 12140000 121400000 12140000000000	2 1719002 1719002 919000 919000 919000 100000 20090000	.9. 2020029. 2020029. 1022000. 25120029 0 0 0 0 0 0	
,000 4,510,000 4,510,000 4,510,000 4,510,000 前期計(賞与含む)) 4,510,000 4,310,000 4,310,000 4,310,000 4,310,000 4,310,000 4,310,000 4,310,000 4,310,000 4,310,000 4,310,000	000 6,000,000 6,000,000 1,500, む)	000 9,000,000 9,000,000 9,000,0 0 91,320,000 年合計
21,600,000	22,800,	000	44,400,000 21
Image: A second scalar and scala	Arten 3 10000 271000 271000 271000 20100 20100 201000 1000 Lanual lanual	00 - BODDOL JADRAD T 1400 0 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 145040 - 155040 - 1550400 - 1550400 - 1550400 - 155040 - 155040 -	

改良内容

I. 全 般

1)休職者・退職者の表示

- ①入力業務、登録業務等で、社員一覧のコード番号左に休職者、退職者の区分を表示するようにしました。
 ・休職者→橙色+「休」、退職者→黄色+「退」
 - (当月退職者、既退職者の区別はありません。)



※出力業務及び、退職金明細書業務での対応は行いません。

②一覧入力画面で、社員一覧の個人コード欄に休職者、退職者の区分を表示するようにしました。

・休職者→橙色+「(休)」、退職者→黄色+「(退)」 給与賞与入力:【社員一覧入力】、【項目一覧入力】 算定月変・個人データ入力:【算定月変一覧入力】 ※退職者は表示されないため、休職者のみ 算定基礎賃金集計表:【月別賃金修正】

《例》社員一覧入力

個人コード	社員氏名		本給	役職⊧
000002	固定アップ 非固定ダウン	月給	200,001	
000003	固定ダウン 非固定アップ	月給	199,999	
000004		月給	300,000	
000011(退)	既退職者	月給		
000013(休)	乙欄	月給	300,000	
1 -000001	喜年齡 役員	日給		

佰日 —暫λ力				- (110)
項口 克八八	個人コード	000011(月給)(退)	000013(月給)(休)	1
	社員氏名	既退職者	乙欄	高
	本給		300,	,000
	役職手当			
	家族手当			
	會車 王 业			



Ⅱ.登録・導入/会社情報

1) 新規会社登録・修正・削除

- ①システム設定タブ-システム:保険/基・配・所申告書
 - ・システム設定タブの「保険/基・配・所申告書」又は「保険等申告書」の項目名について、新規会 社登録時の初期値を「保険等申告書」から「保険/基・配・所申告書」に変更しました。

<u>基本会社情報 支給・労働条件 社会保険 税金・</u> システム:	<u>年調</u> ∫システム設定 <u>ユーザー設定</u>
部署管理	2階層まで使用 -
区分管理	行わない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
端額 計算基礎額	端額計算なし ▼
端額 繰越	
扶養控除申告書	作成する 🗸
保険/基・配・所申告書	作成する
賞与支払方法	給与と共通 ▼
社員登録に固定給登録	○使用する ◎使用しない

※既存マスターで会社登録を開いた場合は、令和2年以降マスターであれば「保険/基・配・所申 告書」、令和1年以前マスターであれば「保険等申告書」と表示しています。

Ⅲ. 給与・賞与/財務連動

1) 給与仕訳作成

- ①作成開始押下後の集計タイプ選択画面の「処理年月」と、処理月選択画面の「処理月」が一致するよう表示を変更しました。
 - ・従前は「処理年月」は支給日を見て表示していたため、会社登録 支払区分が"翌月支給"の会社の場合にずれが生じていました。



翌月支給のマスターで"5月分"を選択 したとき、処理年月は"5年6月"と表 示されていました。

Ⅳ. 給与・賞与/出力

1) 出力処理/所得税徵収高計算書(納付書)

- ①「当月退職+年調する」の社員がいる場合、メッセージを表示するようにしました。
 - ・抽出月が、当月退職社員がいる月のとき
 ・抽出期間内に当月退職者に変更して年末調整を行った人が存在します。 その人の年末調整による過不足税額は年調月に抽出されます。 退職月に通不足税額を計上したい場合は手入力してください。 その場合、年調月の抽出後にその分の過不足税額を差し引く必要があります。
 ・抽出月が、当月退職社員がいる年の年調 月のとき
 新得税激収高計算會(納付會)
 ※
 全ての退職者の年末調整による過不足税額を手入力して計上した場合は その分の過不足税額を手入力して計上した場合は その分の過不足税額を手入力して計上した場合は その分の過不足税額を手入力して計上した場合は



V. 給与·賞与/算定·月変

1) 算定基礎届・月額変更届

- ①健康保険の標準報酬月額が上限(下限)に達している場合の月変についての改良 《概要》
 - ・月変は、本来従前の標準報酬月額との間に2 等級以上の差が生じることが条件ですが、上限(下限) にわたる等級変更の場合は、1 等級差でも月変対象となることがあります。 参考 URL: 随時改定(月額変更届) | 日本年金機構 (nenkin.go.jp)

《問題点》

・これまでは前回改定時の報酬月額の入力や保持をしていなかったため、健康保険の上限(下限)のと きに、実際は月変非対象者であっても月変対象と判定されているケースがありました。また、画面下 部にメッセージはあったものの気づきにくい状態でした。

《画面等の改良》

- ・前回改定時の報酬月額を保持するようにしました。
- ・算定月変・個人データ入力画面に「従前の報酬月額」欄を新設しました。 健康保険で 50 等級→49 等級、又は1 等級→2 等級となる社員にのみ表示します。次回月変からは保 持した前回改定時の報酬月額を表示しますが、初回は手入力で補充してください。
- ・「従前の報酬月額」欄は必要に応じて変更可能です。

※50 等級、又は1 等級の範囲外の入力があった場合は受け付けません。

例えば直前に「50,000」とある場合、1 等級の範囲外である「65,000」と入力しても「50,000」 のままとなります。

支払基礎	日数	金銭		現物			賞与	승 함	-		遡及等	
04年08月	31日	6	8,000						68,000			
04年09月	30日	6	8,000					l	68,000			
04年10月	31日	6	8,000						68,000			
				総計/修正部			1/修正合計	21	04,000	0		
						平均	月/修正平均 🚽		88 000			
対象区	分	○算定 ●	月変	○対象外				従前の報酬	州月額		50,000	
		標準報酬		保険料			同生生会	小売 4年	羊肉 即州		/ 모 #全 #刘	
DE DR 1本 P央		月額	等級	一般		と護	净土牛並	月額		等級	1ተና ቦይ ተተ	
従前		58 千円	1	2,964		_		8	8 千円	1	8,052	
改定		68 千円	2	3,475			改定	8	8 千円	1	8,052	

・従前の報酬月額が空欄の場合は画面下部に赤でメッセージを表示します。

Ι	対象区学		日恋	○対象外			(光台の) お雨川 日 変動		
			л×				1,と月リシノギ以省川ノゴ 谷泉		
健康保險		標準報酬		保険	(料)	厚生年全	標準報酬		伊哈索
	DELSR DAPK	月額	等級	一般	内介護	17 - 1 - 4 - 52	月額	等級	DARX11
	従 前	1390 千円	50	71,029		従 前	650 千円	32	59,475
	改定	1330 千円	49	67,963		改定	650 千円	32	59,475
]	従前の標準報酬月額が上限です。従前の報酬月額を入力するか月変対象外の場合は手動で切替えてください。								

《判定の改良》

・従前の等級が1等級、改定後は2等級の場合、従前の報酬月額が53千円未満の社員は月変対象、53 千円以上の社員は、月変非対象となります。

従前の等級が 50 等級、改定後は 49 等級の場合、従前の報酬月額が 1,415 千円以上の社員は月変対象、1,415 千円未満の社員は月変非対象となります。

※算定・月変業務のほか、翌期更新等における月変判定も同じように変更しています。



VI. 通信・移動/給与マスター移動

1) 給与マスターコピー

①年度選択

・年度選択ボタンをツールバーに表示するよう改良しました。 転送先マスターにカーソルを当てると[HOME 年度選択]を表示します。選択したマスターが当年度 のみのマスターの場合は表示されません。ダブルクリックで年度選択をする方法も可能です。

会社番号 業種	会社名	過年度
20200701	東京商事株式会社	
	111 F 12 Ins Del	Home End 年度選択 処理終了
年度邀付	×	
ユビーする年度を選択して下さい [20200701]東京商事株式会社		
回 <u>告年度(平成31年0月01日 ~ 令約01年12月31日)</u> 回通年度(平成30年01月01日 ~ 平成30年12月31日)		
全解除 [F12]	0K キャンセル	

修正内容

I. 給与・賞与/入力・出力

1) 給与・賞与/社員登録

①扶養情報①タブ

・給与計算時に配扶養区分/源泉控除対象区分が「一般/該当」又は「老人/該当」だった配偶者が、 年調計算時に本人所得と配偶者所得を入力したことで「対象外/該当」となった後、当月削除すると 「対象外/非該当」に切り替わっていたのを修正しました。

②労働条件タブ

・社員情報:支給日参照元が「個人」のとき、支給日を空白にすると「支給日が入力されていません」 となっていたのを修正しました。

※支給日欄は必須項目ですが、支給日参照元が個人のときのみ空白可としています。

2) 退職金明細書

①2か所から退職金の支給を受け、今回受けた分が一般退職、もう一方が短期退職または特定役員退職であった場合、短期退職控除または特定役員退職控除よりも少ない金額を「上記以外の退職手当」(短期(300万以下)、短期(300万超)、特定役員の欄)に入力すると、その入力した金額を計算に含めていなかったのを修正しました。

※「課税退職所得金額」及び「上記に対する税額」が正しく算出できていませんでした。

Ⅱ. 給与・賞与/出力

1) 出力処理/月別給与一覧表

①月別給与一覧表-F6項目設定で、金額が発生している項目を出力対象外としている場合の注意メッセージについて、「本給」「その他社会保険料」等は条件に該当しても注意メッセージを表示していなかったのを修正しました。



Ⅲ. 給与・賞与/算定・月変

1) 算定基礎届·月額変更届

- ①算定・月変業務において、出勤日数や出勤時間から支払基礎日数を算出する際、端数を切上げるよう修 正しました。
 - ・例えば日給者(出勤日数=支払基礎日数)が出勤日数16.5日のとき、支払基礎日数16日と端数分が切り捨てられていました。

《参考:支払基礎日数について》

日本年金機構の手引きによると、1時間だけの勤務であっても給与の支払い対象であれば1日とカウントすることとなっています。

- ②算定月変入力タブにおいて、「次社員」ボタンを 2 回押さないと、次の社員が表示されなかったのを修 正しました。
- ③算定後、7月に固定的賃金の変動があり9月給与で月変処理を行う場合、月額変更届の「従前改定月」 に算定月を表示するようにしました。
 - 《例》4年9月に算定→5年9月に算定→5年9月に月変と処理を進めたとき、従前は「4年9月」と なっていましたが、当プログラムより「5年9月」と表示されます。

2) 社会保険データ作成

①算定後、7月に固定的賃金の変動があり9月給与で月変処理を行う場合、月額変更届の「従前改定月」 に算定月を表示するようにしました。

以上